

履修要項変更点一覧【2017(平成29)年度入学生対象】

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																																																																																																																																		
【viii～ixページ】 経営学部教育課程編成・実施の方針	文言の修正	「専門科目」、「専門演習」という文言すべて	「 <b>専攻科目</b> 」、「 <b>演習</b> 」に変更	2018年3月																																																																																																																																		
【ixページ】 経営学部教育課程編成・実施の方針	文言の追加	○経営学や会計学に対する知的好奇心や関心を持てるように、1年次に必修科目として「現代のビジネス」、「簿記入門」、「経営と情報」、「現代の企業会計」を開講する。  ○専攻科目を履修する準備段階として・・(途中省略)・・基礎演習・演習と組み合わせて開講する。  ○学生の習熟度に応じて・・(途中省略)・・4年次第8セメスター)を配置している。	○経営学や会計学に対する知的好奇心や関心を持てるように、1年次に必修科目として「 <b>情報リテラシー</b> 」、「現代のビジネス」、「簿記入門」、「経営と情報」、「現代の企業会計」を開講する。  ○専攻科目を履修する準備段階として・・(途中省略)・・基礎演習・演習・ <b>応用演習</b> と組み合わせて開講する。  ○学生の習熟度に応じて・・(途中省略)・・4年次第8セメスター)・ <b>応用演習(3年次第6セメスター)</b> を配置している。	2018年3月																																																																																																																																		
【ixページ】 経営学部教育課程編成・実施の方針	文言の削除	○専攻科目を履修する準備段階として・・(途中省略)・・8科目を1年次・2年次に配置	○専攻科目を履修する準備段階として・・(途中省略)・・8科目を <b>1年次に配置</b>	2018年3月																																																																																																																																		
【xiページ】 学生に保障する基本的な資質 (英語コミュニケーション)	文言の修正	(思考・判断) ○異なる文化や <b>価値感</b> を理解した上で、  (興味・関心) ○異なる文化や <b>価値感</b> を理解しようとする <b>探求心</b> を持っている。	(思考・判断) ○異なる文化や <b>価値観</b> を理解した上で、  (興味・関心) ○異なる文化や <b>価値観</b> を理解しようとする <b>探究心</b> を持っている。	2018年3月																																																																																																																																		
【17ページ】 第1部V 2.履修登録制限単位数	履修登録制限単位数に含まれない科目 (科目の追加)		履修制限に含まれない科目に、「英語コミュニケーションコースに所属する学生が履修する「海外研修」(4単位)の追加	2018年3月																																																																																																																																		
【42ページ】 第2部II 3.言語科目について (2)必修外国語科目の履修について	初修外国語の再履修のうち、「中国語Ⅰ・Ⅱ」の履修方法に関する内容	不合格となった科目の再履修クラスを選択して履修してください。	不合格となった科目の再履修クラス <b>あるいは正規クラス</b> を選択して履修してください。	2018年3月																																																																																																																																		
【49ページ】 第2部II 5.教養科目、選択外国語科目の予備登録について (5)予備登録が不要な科目	教養教育科目、選択外国語科目の予備登録にかかる記載のうち(5)「予備登録が不要な科目」の「海外英語研修」に関する※部分に記載している内容。	その上で本登録を行います。	その上で <b>申込み手続きを行ってください。</b>	2018年3月																																																																																																																																		
【65ページ】 第2部III 3.専攻科目一覧	単位数及び記号表記の削除	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">グレード番号</th> <th rowspan="2">授業科目名</th> <th rowspan="2">担当者</th> <th rowspan="2">単位数</th> <th colspan="8">開講セメスター</th> <th colspan="3">コース(モデル)</th> </tr> <tr> <th>1セメ</th> <th>2セメ</th> <th>3セメ</th> <th>4セメ</th> <th>5セメ</th> <th>6セメ</th> <th>7セメ</th> <th>8セメ</th> <th>経営・組織</th> <th>経営・市場</th> <th>経営・世界</th> <th>会計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>経営学特別講義</td> <td></td> <td>8</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実践講座</td> <td></td> <td>8</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table>	グレード番号	授業科目名	担当者	単位数	開講セメスター								コース(モデル)			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	経営・組織	経営・市場	経営・世界	会計		経営学特別講義		8																	実践講座		8																<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">グレード番号</th> <th rowspan="2">授業科目名</th> <th rowspan="2">担当者</th> <th rowspan="2">単位数</th> <th colspan="8">開講セメスター</th> <th colspan="3">コース(モデル)</th> </tr> <tr> <th>1セメ</th> <th>2セメ</th> <th>3セメ</th> <th>4セメ</th> <th>5セメ</th> <th>6セメ</th> <th>7セメ</th> <th>8セメ</th> <th>経営・組織</th> <th>経営・市場</th> <th>経営・世界</th> <th>会計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>経営学特別講義</td> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>実践講座</td> <td></td> <td></td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">時間割冊子 P.12参照</p>	グレード番号	授業科目名	担当者	単位数	開講セメスター								コース(モデル)			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	経営・組織	経営・市場	経営・世界	会計		経営学特別講義																			実践講座																		2018年3月
グレード番号	授業科目名	担当者					単位数	開講セメスター								コース(モデル)																																																																																																																						
			1セメ	2セメ	3セメ	4セメ		5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	経営・組織	経営・市場	経営・世界	会計																																																																																																																							
	経営学特別講義		8																																																																																																																																			
	実践講座		8																																																																																																																																			
グレード番号	授業科目名	担当者	単位数	開講セメスター								コース(モデル)																																																																																																																										
				1セメ	2セメ	3セメ	4セメ	5セメ	6セメ	7セメ	8セメ	経営・組織	経営・市場	経営・世界	会計																																																																																																																							
	経営学特別講義																																																																																																																																					
	実践講座																																																																																																																																					
【80～81ページ】 第2部IV 4.(1).国際関係コース	国際関係コース開設 「Intercultural Discussion」及び「学部共通特別講義Ⅰ」に対する(※注2)の記載している内容。	受講上限人数を15名とし、受講資格を設定する。	受講上限人数、受講資格ともに設定しない。	2018年3月																																																																																																																																		

履修要項変更点一覧【2017(平成29)年度入学生対象】

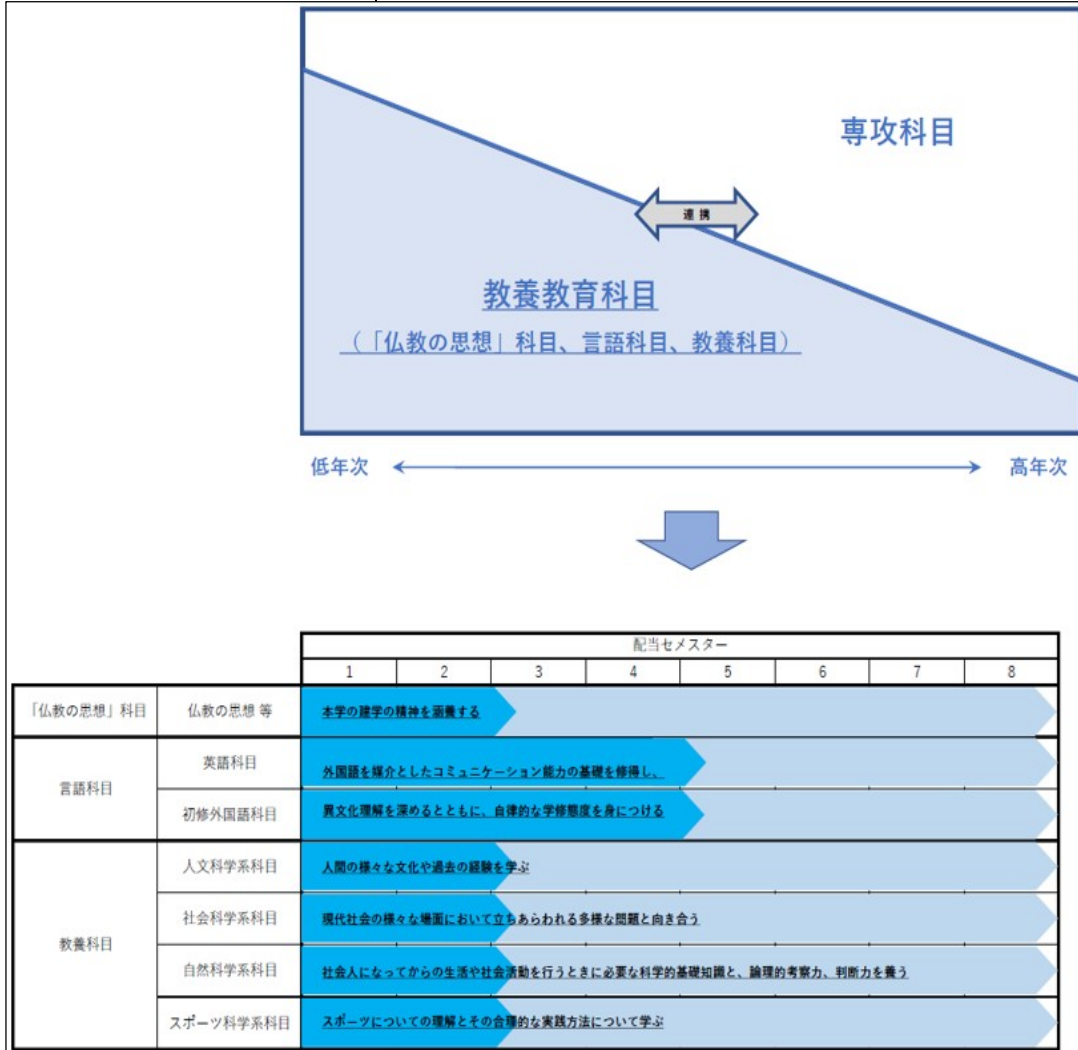
変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																												
【86～87ページ】 第2部Ⅳ 4.(2)英語コミュニケーションコース	英語コミュニケーションコース 開設科目「Intercultural Discussion」及び「学部共通特別講義Ⅰ」に対する(※注1)の記載している内容。	受講上限人数を15名とし、受講資格を設定する。	受講上限人数、受講資格ともに設定しない。	2018年3月																												
【70ページ】 第2部Ⅲ 7.プログラム科目	リンク先の削除	プログラム科目詳細は、以下のホームページで確認してください。 <a href="http://www.biz.ryukoku.ac.jp/pc/index.html">http://www.biz.ryukoku.ac.jp/pc/index.html</a>	削除	2018年3月																												
履修要項WEBサイト URL	URLの変更	<a href="http://kyoga.fks.ryukoku.ac.jp/rishu/">http://kyoga.fks.ryukoku.ac.jp/rishu/</a>	<a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>  【変更事由】 Google Chromeをはじめとする各社のブラウザは、よりわかりやすいセキュリティ情報を配信するために、HTTPSのWebサイトを「安全」、HTTPのサイトを「危険」と表示するシステムを導入しました。これに伴い、本学もHTTPSでWebサイトを表示できるように対応しました。	2019年3月																												
【15ページ】 第1部Ⅳ 5.先修制 教養教育科目	教養教育科目「初修外国語コミュニケーションⅡ」の先修制(履修の条件となる授業科目および単位数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>履修の要件となる授業科目および単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スペイン語コミュニケーションⅡ</td> <td>スペイン語コミュニケーションⅠ(2単位)</td> </tr> <tr> <td>フランス語コミュニケーションⅡ</td> <td>フランス語コミュニケーションⅠ(2単位)</td> </tr> <tr> <td>中国語コミュニケーションⅡ</td> <td>中国語コミュニケーションⅠ(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語コミュニケーションⅡ</td> <td>ドイツ語コミュニケーションⅠ(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ロシア語コミュニケーションⅡ</td> <td>ロシア語コミュニケーションⅠ(2単位)</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数	スペイン語コミュニケーションⅡ	スペイン語コミュニケーションⅠ(2単位)	フランス語コミュニケーションⅡ	フランス語コミュニケーションⅠ(2単位)	中国語コミュニケーションⅡ	中国語コミュニケーションⅠ(2単位)	ドイツ語コミュニケーションⅡ	ドイツ語コミュニケーションⅠ(2単位)	ロシア語コミュニケーションⅡ	ロシア語コミュニケーションⅠ(2単位)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>履修の要件となる授業科目および単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スペイン語コミュニケーションⅡ</td> <td>「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>フランス語コミュニケーションⅡ</td> <td>「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>中国語コミュニケーションⅡ</td> <td>「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ロシア語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数	スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)	フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)	中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)	ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)	ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)	2019年3月				
授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数																															
スペイン語コミュニケーションⅡ	スペイン語コミュニケーションⅠ(2単位)																															
フランス語コミュニケーションⅡ	フランス語コミュニケーションⅠ(2単位)																															
中国語コミュニケーションⅡ	中国語コミュニケーションⅠ(2単位)																															
ドイツ語コミュニケーションⅡ	ドイツ語コミュニケーションⅠ(2単位)																															
ロシア語コミュニケーションⅡ	ロシア語コミュニケーションⅠ(2単位)																															
授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数																															
スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)																															
フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)																															
中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)																															
ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)																															
ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)																															
【16ページ】 第1部Ⅳ 5.先修制 3)その他授業科目にかかる先修制	コース指定外国語[英語コミュニケーションⅡ]・「初修外国語コミュニケーションⅡ」の先修条件(履修の条件となる授業科目および単位数)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>履修の要件となる授業科目および単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語コミュニケーションⅡ</td> <td>「英語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>中国語コミュニケーションⅡ</td> <td>「中国語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>スペイン語コミュニケーションⅡ</td> <td>「スペイン語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>フランス語コミュニケーションⅡ</td> <td>「フランス語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ドイツ語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ロシア語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ロシア語コミュニケーションⅠ」(2単位)</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数	英語コミュニケーションⅡ	「英語コミュニケーションⅠ」(2単位)	中国語コミュニケーションⅡ	「中国語コミュニケーションⅠ」(2単位)	スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語コミュニケーションⅠ」(2単位)	フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語コミュニケーションⅠ」(2単位)	ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語コミュニケーションⅠ」(2単位)	ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語コミュニケーションⅠ」(2単位)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目</th> <th>履修の要件となる授業科目および単位数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英語・コミュニケーションⅡ</td> <td>「英語Ⅰ」(2単位)または「英語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>中国語コミュニケーションⅡ</td> <td>「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>スペイン語コミュニケーションⅡ</td> <td>「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>フランス語コミュニケーションⅡ</td> <td>「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ドイツ語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> <tr> <td>ロシア語コミュニケーションⅡ</td> <td>「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)</td> </tr> </tbody> </table>	授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数	英語・コミュニケーションⅡ	「英語Ⅰ」(2単位)または「英語Ⅱ」(2単位)	中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)	スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)	フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)	ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)	ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)	2019年3月
授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数																															
英語コミュニケーションⅡ	「英語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
中国語コミュニケーションⅡ	「中国語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語コミュニケーションⅠ」(2単位)																															
授業科目	履修の要件となる授業科目および単位数																															
英語・コミュニケーションⅡ	「英語Ⅰ」(2単位)または「英語Ⅱ」(2単位)																															
中国語コミュニケーションⅡ	「中国語Ⅰ」(2単位)または「中国語Ⅱ」(2単位)																															
スペイン語コミュニケーションⅡ	「スペイン語Ⅰ」(2単位)または「スペイン語Ⅱ」(2単位)																															
フランス語コミュニケーションⅡ	「フランス語Ⅰ」(2単位)または「フランス語Ⅱ」(2単位)																															
ドイツ語コミュニケーションⅡ	「ドイツ語Ⅰ」(2単位)または「ドイツ語Ⅱ」(2単位)																															
ロシア語コミュニケーションⅡ	「ロシア語Ⅰ」(2単位)または「ロシア語Ⅱ」(2単位)																															
【54ページ】 第2部 2-1.教養教育科目開設科目一覧	教養教育科目開設科目(言語科目<選択外国語科目>)	—	以下の科目について、2015年度以降入学生の履修を可能とする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>授業科目名</th> <th>単位</th> <th>担当セメスター</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ヘルシア語ⅠA</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ヘルシア語ⅠB</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ヘルシア語ⅡA(※)</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ヘルシア語ⅡB(※)</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>トルコ語Ⅰ</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>トルコ語Ⅱ</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>アラビア語Ⅰ</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>アラビア語Ⅱ</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> ※「ペルシア語ⅡA」(2単位)「ペルシア語ⅡB」(2単位)の先修条件(履修の要件となる授業科目及び単位数)は、「ペルシア語ⅠA」(2単位)または「ペルシア語ⅠB」(2単位)。 	授業科目名	単位	担当セメスター	ヘルシア語ⅠA	2	3	ヘルシア語ⅠB	2	3	ヘルシア語ⅡA(※)	2	4	ヘルシア語ⅡB(※)	2	4	トルコ語Ⅰ	2	3	トルコ語Ⅱ	2	4	アラビア語Ⅰ	2	3	アラビア語Ⅱ	2	4	2019年3月	
授業科目名	単位	担当セメスター																														
ヘルシア語ⅠA	2	3																														
ヘルシア語ⅠB	2	3																														
ヘルシア語ⅡA(※)	2	4																														
ヘルシア語ⅡB(※)	2	4																														
トルコ語Ⅰ	2	3																														
トルコ語Ⅱ	2	4																														
アラビア語Ⅰ	2	3																														
アラビア語Ⅱ	2	4																														
【96ページ】 第2部 4.各コースについて (3)スポーツサイエンスコース 3)資格試験の受験資格を得るために必要な科目	「トレーニング指導者」資格試験の受験資格を得るために必要な科目(特別演習)	「特別演習Ⅰ・Ⅱ(長谷川・村田)」	「特別演習Ⅰ・Ⅱ(長谷川・村田・鈴木)」	2019年3月																												



履修要項変更点一覧【2017(平成29)年度入学生対象】

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
<p>【105ページ】 4. 東洋大学・龍谷大学間相互学生交流プログラム (ICAAP)</p>	<p>ページの追加</p>	<p>—</p>	<p>経営学部では、1999年4月から東京にある東洋大学経営学部との間で単位互換のための相互学生交流プログラム(Inter College Academic Alliance Program)を実施しています。 東京と京都という文化的、地理的風土を全く異にする他地域・他大学で学ぶことにより、同一地域・同一圏内の大学のみで学ぶ以上の幅広い視点からの学習が可能になり、多様で新鮮な経験を積む機会を得ることを目的としたものです。 詳細は経営学部教務課にお問い合わせください。</p> <p>[東洋大学経営学部での学び] 経営学科、マーケティング学科、会計ファイナンス学科の3学科の授業を履修することが可能です。本学にはないマーケティング学科や会計ファイナンス学科があることから、マーケティングや金融に関する科目も充実しています。是非このプログラムを活用して幅広く学びを深めてみてください。</p> <p>[派遣対象学生] 経営学部2・3年次生 [応募資格] 各セメスターごとに必要修得単位数が定められています。応募時には単位修得見込みで可とします。ただし、派遣時に必要単位数の修得ができなかった場合には、派遣を取り消します。</p> <p>[派遣期間] ①前期(半年間) ②後期(半年間) ③前期・後期(一年間)</p> <p>[派遣人数] 若干名</p> <p>[選考方法] 書類審査・面接</p> <p>[派遣キャンパス] 東洋大学白山キャンパス(東京都文京区白山5-28-20)</p> <p>[関連HP] 東洋大学経営学部 <a href="http://www.toyo.ac.jp/nyushi/undergraduate/fba/">http://www.toyo.ac.jp/nyushi/undergraduate/fba/</a></p>	<p>2020年3月</p>
<p>【71ページ】 8. 演習論文提出要領(4年次生)</p>		<p>(3)論文題目提出:7月上旬(予定)に、<b>経営学部教務課</b>へ提出(原則として 変更は認められません。提出日は後日掲示します)。</p>	<p>(3)論文題目提出:7月中旬(予定)に、<b>各演習のmanaba course</b>より提出(原則として 変更は認められません。提出期間は後日掲示します)。</p>	<p>2020年3月</p>

履修要項変更点一覧【2017(平成29)年度入学生対象】

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																																																																																						
<p>【35ページ】 1. 教養教育とは (3)カリキュラムマップ</p>	<p>表の追加</p>	<p>-</p>	 <table border="1" data-bbox="1008 742 2083 1165"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="8">配当セメスター</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5</th> <th>6</th> <th>7</th> <th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「仏教の思想」科目</td> <td>仏教の思想 等</td> <td colspan="8">本学の建学の精神を継承する</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">言語科目</td> <td>英語科目</td> <td colspan="8">外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、</td> </tr> <tr> <td>初修外国語科目</td> <td colspan="8">異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">教養科目</td> <td>人文科学系科目</td> <td colspan="8">人間の様々な文化や過去の経験を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>社会科学系科目</td> <td colspan="8">現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合う</td> </tr> <tr> <td>自然科学系科目</td> <td colspan="8">社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学系科目</td> <td colspan="8">スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ</td> </tr> </tbody> </table>			配当セメスター										1	2	3	4	5	6	7	8	「仏教の思想」科目	仏教の思想 等	本学の建学の精神を継承する								言語科目	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、								初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける								教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経験を学ぶ								社会科学系科目	現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合う								自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う								スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ								<p>2020年9月</p>
		配当セメスター																																																																																								
		1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																	
「仏教の思想」科目	仏教の思想 等	本学の建学の精神を継承する																																																																																								
言語科目	英語科目	外国語を媒介としたコミュニケーション能力の基礎を修得し、																																																																																								
	初修外国語科目	異文化理解を深めるとともに、自律的な学習態度を身につける																																																																																								
教養科目	人文科学系科目	人間の様々な文化や過去の経験を学ぶ																																																																																								
	社会科学系科目	現代社会の様々な場面において立ちあらわれる多様な問題と向き合う																																																																																								
	自然科学系科目	社会人になってからの生活や社会活動を行うときに必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う																																																																																								
	スポーツ科学系科目	スポーツについての理解とその合理的な実践方法について学ぶ																																																																																								